

- 問1 4世紀から7世紀にかけて、近畿地方の有力な一族を中心として組織され、日本の大部分を統治した政治組織の仕組みについて述べたものとして最も適切なものはどれですか。 (2022年 茨城県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 地方の武士が幕府を開き、土地の支配権を保证することで全国の武士を統制した。 | 2. 大王（おおきみ）と呼ばれる首長を中心として、各地の有力な豪族が連合して構成された。 | 3. 貴族が摂政や関白の職を独占し、天皇に代わって政治の実権を握る体制がとられた。 | 4. 漢の皇帝から授けられた金印を持つ王が、中国の王朝に対して朝貢を行うことで統治した。 |
|--|--|---|--|
- 問2 古墳時代に朝鮮半島などから日本列島へ移り住み、新しい技術や文化を伝えた人々を何と呼びますか。 (2025年 岩手県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. 遣隋使 | 2. 帰化僧 | 3. 渡来僧 | 4. 渡来人 |
|--------|--------|--------|--------|
- 問3 4世紀末から5世紀頃、ヤマト王権は大和地方を中心に勢力を拡大しましたが、その過程で地方の有力な豪族に対し、権力の象徴である銅鏡などを与える政策をとりました。この行為の主な目的として、当時の政治状況から考えて最も適切なものはどれですか。 (2024年 山口県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------------------------|--|-------------------------------------|----------------------------------|
| 1. 全国の一律な税制を確立するために、度量衡の基準として鏡を配るため | 2. 鉄製の武器を効率的に生産するための最新技術を、各地の豪族に共有するため | 3. 地方豪族に仏教を布教し、大陸の進んだ思想で精神的な統一を図るため | 4. 地方豪族との政治的な結びつきを強め、自身の支配下に置くため |
|-------------------------------------|--|-------------------------------------|----------------------------------|
- 問4 世界文化遺産に登録された百舌鳥・古市古墳群には、5世紀頃に造られた日本最大の前方後円墳である大仙古墳が含まれている。このような巨大な古墳が築かれた時代の外交の特徴として、適切なものはどれか。 (2020年 香川県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------------------------------|---------------------------------|------------------------------------|-------------------------------------|
| 1. 元（モンゴル）からの服属要求を拒否し、九州沿岸の防備を固めた。 | 2. 中国の北朝へ使者を送り、仏教を公式に伝えるよう要請した。 | 3. 中国の南朝へ使者を送り、自らの地位を認めてもらう活動を行った。 | 4. 唐へ遣唐使を派遣し、律令に基づく中央集権的な国家体制を導入した。 |
|------------------------------------|---------------------------------|------------------------------------|-------------------------------------|
- 問5 大仙陵古墳（仁徳天皇陵古墳）のような巨大な古墳が築かれた背景や、その特徴について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2020年 東京都公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 死者を弔うために、土で人や動物の形を作って焼き上げた土偶が墳丘の周囲に並べられた。 | 2. 墳丘の周囲には三重の堀が巡らされており、王の強大な権力を誇示する目的があったと考えられる。 | 3. 古墳の形状は、日本独自の形式である円墳が採用され、大陸の影響を一切排除して造られた。 | 4. 古墳の表面には、仏教の影響を受けた装飾として、寺院から伝わった瓦が並べられていた。 |
|--|--|---|--|
- 問6 古墳時代を代表する、前部が方形（四角形）、後部が円形の形状をした巨大な墳墓の名称として正しいものを選択してください。 (2019年 富山県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|----------|-------|---------|
| 1. 方墳 | 2. 前方後円墳 | 3. 円墳 | 4. 装飾古墳 |
|-------|----------|-------|---------|
- 問7 古墳時代中期（5世紀）の日本において、近畿地方に巨大な前方後円墳が相次いで作られた一方で、熊本県や埼玉県という離れた地域から同一の大王名が刻まれた鉄剣が発見されている理由として最も適切なものを、次の選択肢の中から1つ選びなさい。 (2025年 宮崎県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--------------------------------------|--|
| 1. 近畿地方を本拠地とするヤマト王権が地方の首長と結びつき、支配勢力を広範囲に拡大させたから | 2. 地方の首長たちが独自に近畿地方の技術を模倣し、政治的影響力を強めたから | 3. 中国の皇帝から与えられた鉄剣を全国の首長が共有して保持していたから | 4. 九州地方の邪馬台国が全国の首長を従えて巨大な墳墓を各地に建造させたから |
|---|--|--------------------------------------|--|
- 問8 埼玉県の稲荷山古墳から「ワカタケル大王」の名が刻まれた鉄剣が出土し、また熊本県の江田船山古墳からも同じ大王の名が刻まれた大刀が出土しました。これらの史料から推測できる、5世紀後半の日本列島の状況として最も適切な説明を選びなさい。 (2024年 大阪府公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------------------|--|--------------------------------------|-------------------------------------|
| 1. 稲作の技術が伝わったことで、日本列島各地で小国家の統一が始まった。 | 2. 各地域の豪族が独自に強力な軍隊を持ち、ヤマト政権と激しく対立していた。 | 3. ヤマト政権の政治的な支配力が、関東地方から九州地方まで及んでいた。 | 4. 仏教の教えが全国に広まり、各地の豪族が鉄剣を寺院に奉納していた。 |
|--------------------------------------|--|--------------------------------------|-------------------------------------|
- 問9 古墳時代の日本列島では、海外から高度な技術や文化を持つ人々が移り住み、社会の発展に大きな影響を与えました。高温で焼く硬い灰色の土器である「須恵器」の技術を日本に伝えた、朝鮮半島などから移住してきた人々を何と呼びますか。 (2018年 長崎県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|-------|--------|--------|
| 1. 地頭 | 2. 防人 | 3. 遣隋使 | 4. 渡来人 |
|-------|-------|--------|--------|
- 問10 3世紀後半から4世紀にかけての日本列島の歴史において、大規模な古墳の築造が始まった時期の政治状況を説明した文として、最も適切なものはどれか。 (2025年 秋田県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 各地の小国が対等な立場で同盟を結び、銅鐸を共有する祭祀によって平和を保った。 | 2. 『魏志』倭人伝に記されているように、九州地方を中心とした女王による統治が続いた。 | 3. 近畿地方の有力な豪族を中心とした、複数の勢力による政治連合が形成された。 | 4. 朝鮮半島から移住した渡来人が、最新の鉄器技術を背景に単独の王朝を打ち立てた。 |
|---|---|---|---|
- 問11 熊本県の江田船山古墳から出土した鉄刀と、埼玉県の稲荷山古墳から出土した鉄剣には、いずれも「ワカタケル大王」の名が刻まれていました。この事実から推測される、5世紀ごろの大和政権の勢力範囲に関する説明として、最も適切なものを選びなさい。 (2014年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 大和政権の勢力は、東北地方から九州南部に至る日本列島のほぼ全域を支配していた。 | 2. 大和政権の勢力は、大陸の影響を強く受けていた九州地方のみに限定されていた。 | 3. 大和政権の勢力は、近畿地方とその周辺の非常に狭い範囲に限定されていた。 | 4. 大和政権の勢力は、九州北部から関東地方南部におよぶ広い範囲に広がっていた。 |
|--|--|--|--|
- 問12 5世紀ごろ、大和政権（ヤマト王権）の支配が関東地方や九州地方まで及んでいたことを示す歴史資料があります。埼玉県の稲荷山古墳や熊本県の江田船山古墳から出土した鉄剣・鉄刀に、その名が刻まれていた人物として正しいものを選びなさい。 (2019年 愛媛県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|------------|---------|----------|
| 1. 卑弥呼 | 2. ワカタケル大王 | 3. 聖徳太子 | 4. 中大兄皇子 |
|--------|------------|---------|----------|
- 問13 3世紀ごろの中国大陆の情勢と、当時の日本との関わりについて述べた文として、内容が正しいもの一つを選びなさい。 (2016年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 魏・呉・蜀の三つの国が分立して争っており、邪馬台国の卑弥呼はそのうちの魏に使いを送った。 | 2. 秦の王が初めて中国を統一して始皇帝と名乗り、日本を含む周辺地域に大規模な軍隊を派遣した。 | 3. 唐が周辺諸国に従える強大な帝国を築いており、日本からは律令制度を学ぶために遣唐使が送られた。 | 4. 隋が南北に分裂していた中国を統一した時期であり、聖徳太子が小野妹子を派遣して交流を深めた。 |
|---|---|---|--|